



株式会社船井財産コンサルタンツ高松

最近、世間を賑わせている「金融業界」のニュース。株式や為替はもちろん、「保険」についても連日多くの報道があります。世界同時株安の影響を受け、変額年金の運用成績悪化にお悩みの方、円高の影響を受け、外貨建保険商品の為替差損にお悩みの方からのご相談が増えています。また、現在加入している保険や保険会社について不安な方も多いのではないのでしょうか？今回は、知っておきたい保険商品の知識、保険会社の選び方を御説明いたします。

●保険商品の知識

年金保険商品の代表例として「変額年金保険（元本確保型）」と「個人年金保険（確定型）」が挙げられます。

なかでも次の二つの保険を確認してみましょう。

- ◆変額年金保険・・・運用実績に応じて**積立額が変動**
- ◆個人年金保険（確定型）・・・**最低保障利率で積立**

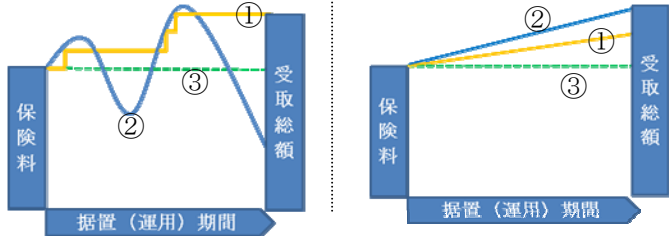
これらの仕組みを理解していれば、「慌てて解約して損をしてしまった」ということを防ぐことができます。

元本保証

元本保証となるのは運用期間満了時の年金原資を、次の中で最も多い金額を受け取ることができるため。中途解約しなければ受取金額が元本を下回ることはありません。

【変額年金保険（元本確保型）】 【個人年金保険（確定型）】

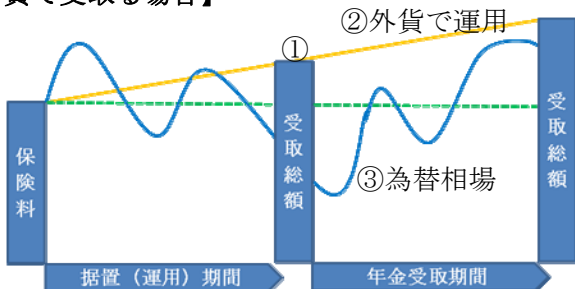
- | | |
|--------------|-----------|
| ①運用実績に応じてアップ | ①最低保障利率 |
| ②実際の運用実績 | ②実際の積立利率 |
| ③支払保険料相当額 | ③支払保険料相当額 |



為替リスクのコントロール

外貨建の保険があります。その時に気になるのが「為替リスク」。冷静に対応すれば、為替リスクをコントロールすることができます。

【外貨で受取る場合】



- ①受取時の通貨は当初に選択可能
- ②年金受取期間中も**外貨による運用で殖える**
- ③為替相場が**有利な時に、円へ転換**できる

●保険会社の選び方

たくさんの保険会社がありますが、いったいどの保険会社が安全なのでしょう？

保険会社を選ぶ時のポイントを御説明いたします。

キャッシュフローは大丈夫？

保険会社も会社です。利益を上げ、キャッシュフローを良くしないと、当然破綻の危険があります。

保険会社のキャッシュフローのポイントは簡単にいうと次のとおり。

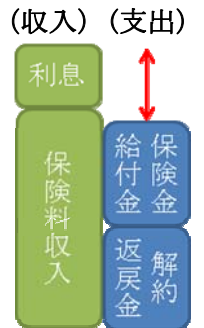
◆収入

- ・契約者が支払う保険料
- ・保有資産の運用による利益

◆支出

- ・死亡時等に支払われる保険金・給付金
- ・解約時に支払われる解約返戻金

(収入) - (支出) → 多いほど資金が潤沢



責任準備金繰入額はプラス？ マイナス？

責任準備金とは・・・保険会社が将来支払うことになる保険金や満期金、解約返戻金などの準備のために、保険料の一部から積み立てるお金のことです。

◆責任準備金繰入額が**プラス**の場合

保険契約数が増加しているか、または維持されている

◆責任準備金繰入額が**マイナス**の場合

保険契約数が減少している

責任準備金繰入額の増減を数年分見ることによって、その保険会社の現状を簡単に知ることができます。

運用は大丈夫なの？

将来の保険金等の支払に備えて、保険会社はお客様から受け取った資金等の運用を行っています。

一般的には次のようなものに分散投資しています。(右図参照)

運用による利益を得るため、ハイリスクハイリターンの商品も含まれている場合があります。そのため、長期分散投資を行い、運用によるリスクを軽減しています。

運用方針によって運用結果は大きく変わります。



これらの情報は保険会社のディスクロージャー資料で公開されています。保険会社の内容に不安を抱いている方は、一度確認しておいた方がいいでしょう。

※2008年10月15日現在の法令に基づき制作しています。申告の際は最寄りの税務署等にてご確認ください。

今後、税制改正等が行われた場合には、その限りではありません。